

TARO

TARO OKAMOTO MUSEUM OF ART, KAWASAKI

川崎市岡本太郎美術館広報誌
2025年7月・8月・9月

Vol. 91



岡本太郎《明日の神話》(部分)1968年、油彩・キャンバス

1954年にビキニ環礁で行われたアメリカの水爆実験により第五福竜丸が被爆した翌年、岡本太郎はこの事件を題材に、《燃える人》《瞬間》《不具者》などを制作します。1967年、メキシコの実業家にホテルのロビーに飾る壁画の制作を依頼された岡本は、1968年に《明日の神話》を制作します。壁画の下には「HIROSHIMA NAGASAKI」と記された銘板が取り付けられていました。

当館が所蔵する《明日の神話》は、メキシコの壁画のために制作された原画の一つです。原爆やビキニ環礁での水爆実験を題材として、画面には擬人化されたきのこ雲や第五福竜丸が描かれ、中央にはメキシコの「死者の日」の祭りに触発されたためか、骸骨が描かれています。体を広げて炎をまとい屹立する骸骨の姿によって、岡本は原水爆の惨禍を乗り越えてなお、誇らしく生きる人間像を描き出したのです。(片岡香)

Contents 目次

- 企画展「戦後80年《明日の神話》次世代につなぐ 原爆×芸術」
- 次回常設展(仮)「岡本太郎 生きることは遊ぶこと」
- イベント情報
- 美術館カレンダー

企画展

会期:2025年7月19日(土)~10月19日(日) 「戦後80年《明日の神話》次世代につなぐ 原爆×芸術」 80 Years After the War “The Myth of Tomorrow” Atomic Bomb × Art: Connecting the Next Generation

休館日: 月曜日(7月21日、8月11日、9月15日、10月13日を除く)、7月22日(火)、8月12日(火)、9月16日(火)、9月24日(水)、10月15日(水)
観覧料: 一般 1000 (800) 円、高・大学生・65歳以上 800 (640) 円、中学生以下は無料
※() 内は 20名以上の団体料金

会場: 川崎市岡本太郎美術館 常設展示室・企画展示室
主催: 川崎市岡本太郎美術館 / 特別協力: 弓野匡純、仲野泰生 / 会場構成: 眞田大輔
協力: 広島市立基町高等学校・創造表現コース、公益財団法人広島平和センター、広島平和記念資料館、アートフロントギャラリー、Ulterior Gallery、ギャラリーQ、ミヅマアートギャラリー、Yutaka Kikutake Gallery、株式会社ソナ、LUFTZUG、TSSテレビ新広島

展示構成:
・広島市立基町高等学校 創造表現コース「次世代と描く原爆の絵」(広島平和記念資料館蔵)
・現代アーティスト 安藤榮作、笠木絵津子、後藤靖香、小林エリカ、薦谷菜、富安由真、安喜万佐子、米谷健+ジュリア、李晶玉
・岡本太郎《明日の神話》《死の灰》(岡本太郎記念館蔵) 他 関連作品及び資料

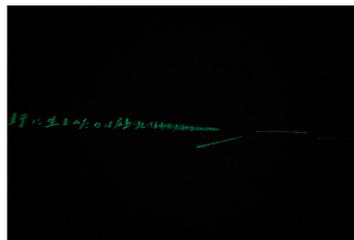
戦後80年を迎える今年、戦争や被爆の記憶を次世代につなげる展覧会を開催します。本展開催のきっかけは、広島市立基町高等学校の生徒たちが描いた「原爆の絵」です。広島島の爆心地に程近い基町高校では、創造表現コースの生徒たちが被爆者から半年以上の時間をかけて話を



安喜万佐子《網膜の雪(snow in Hiroshima)》2004-2018年、作家蔵



後藤靖香《堂々巡り》2024年、作家蔵



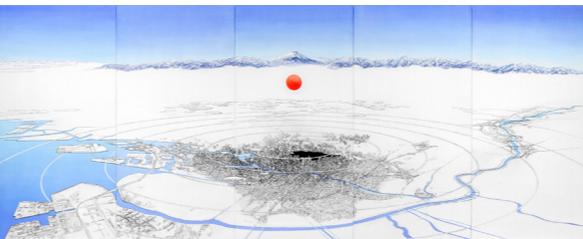
小林エリカ《Sunrise》2016年、作家蔵
Photo by LUFTZUG



笠木絵津子《笠木絵津子映像プロジェクト「現代物理への旅」第2章その1「ロスアラモス」》2023年



富安由真《影にのぞむ》2023年、作家蔵
(原爆の図丸木美術館での展示風景 撮影:加藤健)



李晶玉《Ground Zero》2022年、個人蔵



安藤榮作《鳳凰》2016年、作家蔵(参考作品)



薦谷菜《ビジゴのインク》2025年



岡本太郎《明日の神話》1968年、油彩・キャンバス



サンガー梨里(証言者:飯田國彦)《皆、どこに消えたの?》2021年、広島平和記念資料館蔵



高山愛季(証言者:笠岡貞江)《ああ!幽霊だ!!》2013年、広島平和記念資料館蔵



原爆ドームを撮影する岡本太郎(1963年、広島)



米谷健+ジュリア《中国 クリスタルパレス: 万原子力発電国産業製作品大博覧会》2016年、作家蔵



津村果奈(証言者:岸田弘子)《死んだ我が子を背負う若いお母さん》2016年、広島平和記念資料館蔵

	企画展	常設展	イベント
7月	「岡本太郎と太陽の塔 万国博に賭けたもの」 4月26日(土)～7月6日(日)	「オカモト・ア・ラ・モード おしゃれの法則」 4月17日(木)～7月13日(日)	●《森の掟》赤い怪物をつかまえよう！ 7月6日(日) ●美術館でフラワーレッスン Vol.36 「碧(あお)のしずく」 7月12日(土) ●「原爆×芸術」展 開催記念 特別講演・クロストーク 7月19日(土) ●出品作家によるリレートーク 7月20日(日) ●出品作家によるトークイベント (小林エリカ) 7月27日(日) ●美術館裏探検(中学生) 7月31日(木)
	「戦後80年《明日の神話》次世代につなぐ 原爆×芸術」 7月19日(土)～10月19日(日)		
8月			●出品作家によるトークイベント (富安由真) 8月9日(土) ●美術館裏探検(小学生) 8月11日(月・祝) ●高校生のための岡本太郎美術館で「キャリア検索」 8月21日(木) ●基町高校卒業生+東京造形大学山田ゼミによるギャラリートーク・ワークショップ 8月22日(金) ●笠木絵津子映像プロジェクト「現代物理への旅」トークショー 8月23日(土)
9月			●出品作家によるトークイベント (李晶玉) 9月7日(日) ●はいはい&よちよち美術館ツアー 9月10日(水)

川崎市 岡本太郎美術館
Taro Okamoto Museum of Art, Kawasaki

〒214-0032 神奈川県川崎市多摩区枳形 7-1-5 生田緑地内
TEL : 044-900-9898 FAX : 044-900-9966
https://www.taromuseum.jp

公式 X 公式 Facebook 公式 Instagram 公式ホームページ

利用案内
開館時間 9:30～17:00(入館は16:30まで)
休館日 月曜日(祝日は除く)、祝日の翌日(土曜・日曜は除く)、年末年始、他に展示替えによる休館日あり
観覧料 展覧会ごとに異なります。



交通案内

- 小田急線向ヶ丘遊園駅
 - 一南口から徒歩17分
 - 一南口から市バス3分
- (5番のりば・溝口駅南口行・溝19系統(1時間に1～2本))
- 「生田緑地入口」下車・徒歩8分
- 一南口からタクシー4分(日本民家園前下車)徒歩5分
- 一北口から小田急バス10分
- (2番のりば・専修大学前行・向10系統(1時間に2～6本))
- 終点「専修大学前」下車・生田緑地西口園路(通行可能時間8:00～17:30)を通過して徒歩6分
- ※向ヶ丘遊園発のバス停の位置情報は区画整理の影響で変更になっている場合があります。事前にご確認下さい。
- 車利用の場合は、生田緑地東口・西口駐車場(有料)をご利用ください

Event イベント 各イベントの申込み 044-900-9898

《森の掟》赤い怪物をつかまえよう! (紙工作)

異質なものを混在させて表現をした「対極主義」の代表作《森の掟》。中心に描かれた赤い怪物を簡単な紙工作で表し、ゲットしませんか。

7月6日(日)①11:00～12:00 ②13:20～14:20 ③14:30～15:30

対象 小学生以上(小学校3年生以下は要保護者同伴) **定員** 各回先着16名

場所 ガイダンスホール **料金** 200円+観覧券 ※当日券に限る

申込 エントランスにて整理券配布。

※要観覧券提示(配布時間:10:30～11:30/13:00～ なくなり次第終了)
※イベント時間までに、展示室の《森の掟》を必ずご覧になってご参加ください。



美術館でフラワーレッスン Vol.36 「碧(あお)のしずく～サマーリースアレンジメント」

空と海の境界線から落ちた一粒のしずくをイメージした、サマーリースアレンジを制作します。空から海へ青のグラデーションをお花で表現しながら、透き通る夏の風を感じてみませんか。

7月12日(土) ①10:30～12:00 ②14:00～15:30

講師 重田章子(日比谷花壇認定講師) **対象** どなたでも(小学3年生以下は保護者同伴)

定員 各回15名 **場所** ガイダンスホール **料金** 材料費2,700円

申込 電話受付(6/5(木)10:00から受付開始)、先着順



美術館裏探検

普段見ることの出来ないバックヤードの一部を公開する子ども限定のイベント。収蔵庫や大型エレベーターなどの美術館の裏側を探検してみましょう。

7月31日(木)・8月11日(月・祝)①11:00～11:40 ②13:30～14:10

対象 7月31日(木)は中学生/8月11日(月・祝)は小学生 **定員** 各回10名

場所 展示室、バックヤード **料金** 無料

申込 電話受付(7/31は7/17(木)・8/11は7/25(金)10:00から受付開始)、先着順

※子どものみの参加となります。集合・解散は、ガイダンスホールとなりますので、付き添いの方は、館内などで、お待ちいただくか、時間になりましたらお迎えにきてください。



高校生のための岡本太郎美術館で「キャリア検索」

一岡本太郎を知る、美術館の仕事を知る、自分を見つめる一

将来を考えている高校生の皆さん、美術館の裏側の仕事の世界を覗いてみませんか? また、作品を通して太郎さんの生き方や考え方を知る事で、将来を考えるヒントをみつけましょう。

8月21日(木) 10:30～15:00 ※12:00～13:00は昼休憩

対象 高校生 **定員** 5名 **持ち物** 筆記用具、お弁当、飲み物

場所 展示室、ガイダンスホール、バックヤード他 **料金** 要観覧料

申込 電話受付(7/16(水)10:00から受付開始)、先着順

※当日までに課題図書として、岡本太郎「今日の芸術」を読んできていただきます。



はいはい&よちよち美術館ツアー

小さいお子さんとご家族のための鑑賞ツアーです。太郎さんの作品を、お子さんと一緒にゆったりと楽しみませんか。

9月10日(水) 10:30～11:30

対象 3カ月～3才までのお子さんご家族の方

定員 8組 **場所** 常設展示室 **料金** 無料(保護者のみ要観覧料)

申込 電話受付(8/27(水)10:00から受付開始)、先着順



第14回 キッズTARO募集 テーマ「未来を見た」

美術館では岡本太郎作品と共に子どもたちの絵画作品を飾る、「キッズTARO展」を今年も開催します。今回のテーマは「未来を見た」。皆さんの不思議な「未来」の世界をお待ちしています。

募集期間 10月1日(水)～10月19日(日) *消印有効

展示期間 11月1日(土)～11月30日(日) **募集資格** 中学生以下

展示場所 ギャラリースペース(無料スペース) **作品サイズ** 四つ切サイズ(38cm×54cm・縦横自由)以内

※応募の方法などの詳細は美術館ホームページをご覧ください。



「戦後80年《明日の神話》次世代につなぐ 原爆×芸術」展関連イベント

●「原爆×芸術」展 開催記念 特別講演・クロストーク

7月19日(土) 14:00～16:00

第1部 特別講演

講演者 小倉桂子 (平和のためのヒロシマ通訳者グループ代表)

●出品作家によるリレートーク

7月20日(日) 14:00～15:30

出演 安藤榮作、後藤靖香、安喜万佐子

会場 常設展示室・企画展示室

料金 無料(要観覧料)

第2部 出品作家によるクロストーク

出演 米谷健+ジュリア、蔦谷楽

ゲスト 小倉桂子 **進行** 土方明司(当館館長)

会場 企画展示室 **料金** 無料(要観覧料)

●基町高校卒業生+東京造形大学山田ゼミによるギャラリートーク・ワークショップ

8月22日(金) 13:00～15:30

講師 山田猛(東京造形大学教授)、一ノ間照美、竹本茜、横山菜央

会場 企画展示室 他

●出品作家によるトークイベント

各日程 14:00～15:00

出演 小林エリカ 7月27日(日)
富安由真 8月9日(土)
李晶玉 9月7日(日)

会場 ガイダンスホール

定員 50名

料金 無料(当日先着順)

●笠木絵津子映像プロジェクト「現代物理への旅」トークショー

8月23日(土) 14:00～16:00 **ゲスト** 佐藤文隆(京都大学名誉教授)、小沼通二(慶應義塾大学名誉教授)、杉山厚子(第五福竜丸元漁労長 見崎吉男氏長女)、安田和也(第五福竜丸展示館学芸員)、高橋将太(名古屋大学素粒子宇宙起源研究所科学コミュニケーター)

進行 笠木絵津子(出品作家)

会場 ガイダンスホール

定員 50名(当日先着順) **料金** 無料

●どこでも TARO アトリエ

これまで好評だったワークショップなどから、大人でも子どもでも、気軽に楽しめるアイデアを引き続きご紹介しています。ぜひ、おうちで挑戦してみてくださいね!

*学校等での課題としても活用いただけます。ご希望の場合はお電話にてご一報ください。

第28弾《明日の神話》塗り絵 ～奇跡のTAROアートをみんなのもとへ

メキシコで制作から一時、行方知れずとなっていた岡本太郎最大の壁画《明日の神話》は、30数年ぶりに発見の後、日本に移送、修復されました。そんな奇跡の作品を当館所蔵の油彩画(壁画3分の1サイズ)をもとに制作した塗り絵でお楽しみいただけます。

配信開始 7月19日(土)～

※8月2日(土)・3日(日)の2日間、ご来館いただいた先着50名様に《明日の神話》塗り絵をプレゼントいたします。



会期:2025年10月28日(火)～2026年3月29日(日)
(仮)「岡本太郎 生きることは遊ぶこと」

休館日: 月曜日(11月3日、11月24日、1月12日、2月23日を除く)、11月4日(火)、11月25日(火)、12月29日～1月3日、1月13日(火)、2月12日(木)、2月24日(火)ほか臨時休館あり

観覧料: 2026年1月31日(土)～3月29日(日) 企画展とのセット料金
一般 700 (560) 円、高・大学生・65歳以上 500 (400) 円、中学生以下は無料
2025年10月28日(火)～2026年1月30日(金) 常設展のみ開催
一般 500 (400) 円、高・大学生・65歳以上 300 (240) 円、中学生以下は無料
※()内は20名以上の団体料金 ※企画展開催中は、企画展とのセット料金に変わります。



岡本太郎《樹人》1951年